

岐大土岐ゼミと楽しく交流



交流会の参加者で集合写真 ハイチーズ(*'ω'*)

土岐邦彦教授と同ゼミ生との交流会が2月19日、三福寺公民館で行われました。ゼミ生16人と前日に行われた発達検査報告に参加した親子や利用者、職員など総勢53人が参加。ラーメン、ピザ、カナッペを作り、楽しく美味しく交流しました。

ラーメンやピザなど
楽しく作りました

さんしょうの会

2017年2月28日 発行
特定非営利活動法人 さんしょうの会
電話 05977-3218709
ホームページ「さんしょうの会」で検索

井谷名人の指導で ラーメン作り



井谷名人(左端)の指導でラーメンを作る参加者ら

ラーメン作りでは、「臥龍」とは合点の井谷名人に指導をしていただきました。生地を丸め麺棒で平たく伸ばし、製麺機(写真右)を使って麺が完成しました。道添設長が仕込んだ麺汁をかけて食べました。

さらにハウスパン工房では、ピザを作りました。ピザ生地をオーブンで焼いて、具材をトッピングしてパン窯で焼きました。野菜の苦手な人のため野菜無しピザも作成。みんなで食べました。

ビンゴゲームなど交流 笑いの輪 広がる

食後は、ビンゴゲームを楽しみました。ビンゴになった人から順番に前に出て自己紹介をしました。恥ずかしながらも自分の名前と好きなことを話す子どももいました。土岐ゼミの学生16人全員の紹介の後に行ったジェスチャーゲームでは、進んで前に出て演じる人たちもあり、会場に笑いの輪が広がりました。

参加した学生は、「初めてラーメンを作り、楽しかったです。言も来ます」「4回目の参加。毎回皆との交流が楽しみです」と話していました。

卒業後はさんしょうの会に

娘が小学2年生の時から発達検査を受けているという母親は、「子どもの



さらにハウスでピザ作りを楽しむ参加者ら

これからの予定

◎ 3/2 (木) 午後7時~8時半、第2きらら、「きららの家」検討委員会

<春休み親子体験教室>

◎ 3/25 (土) 午前9時~正午、第2きらら、クラフトバック教室(クレヨンひだ様講師)

◎ 3/26 (日) 午前9時~正午、きららハウス、ピザ作り教室

◎ 3/4 (土) 9時~12時、拡大理事会、於) 総合福祉センター3階集会室(どなたでもご参加いただけます。さんしょうの会のこと、皆で知恵を出し合って考えていきましょう)



カナッペ作りを楽しむ参加者ら

ことをズバリ言ってくれて助かる。学生たちとの交流も毎回楽しみ。卒業後は、さんしょうの会でお世話になりたいと思ひ」と話していました。

土岐ゼミ発達検査報告会



今年で18年目

障がいのある子どもたちの発達についての学習と研究を進める土岐邦彦ゼミナール。今年で18年目となる発達検査報告会と相談会が2月18日、19日両日行われました。昨年夏に検査を行った13人の子どもも保護者らが参加し、それぞれ土岐先生と担当する学生から報告を受けました。(写真左)

子どもたちに

どう働きかけるか

さて、昨年の検査のレポートを繰り返し見ていながら、子ども達の姿から、どう働きかけをしていくのが良いのかを無闇で推察した

結果を、保護者に報告しました。保護者からの質問に土岐先生が答えたり、子ども同士の気持ちを大学生が代弁する場面もありました。

子どもたちが自身が

楽しめるように

他の場所で発達検査を受けてきた母親は「話すことがゆるくなりな子どもも、言葉では言葉の意味を教えることがかなり意識してきた。しかし、今回の報告では、ハサミなどの意味を理解するよりも、ハサミを使い何を作り、そのことがどんなに楽しいのかを理解することの方が大切との指摘が、土岐先生からありました」と話していました。

別の母親は、「昨年も参加して、子どもの発達の様子を教えていただけのものが

ふれあい餅つき会 元気に参加

障がい者、子ども、お年寄りなどが交流する「ふれあい餅つき会」が2月16日、市総合福祉センター前で行われ、きんぴらハウス・第2きんぴらから利用者や職員が参加しました。

市社会福祉協議会などが主催。歳末たすけあい募金を利用し、80%のもち米を用意し、薪を使った釜に蒸籠で蒸したもち米を臼と杵を使ってつきました。きんぴらから参加した利用者も杵でつくることができました。(写真右)

つきだこの餅は、きな粉と糖煮にして何杯もお代りして頂くそうです。

助かる。日々子どもたちと接しているところでも多いが、子どもにもどう働きかけていくかを知ることができると話していました。

学生たちが自分の言葉で報告できた

土岐邦彦教授は、「先達の発達理論を学ぶことを重視しているが、既存の理論にあてはめて子ども・人間を理解しようとする態度を戒めている。とにかく『まず足を運ぼう、汗をかこう、そして知恵を蓄えよう』を基本に研究している。今回の報告会で、学生たちが研究した結果を、自分の言葉で話せたと思う。地域の中で地域に根差して活動するさんしょうの会の皆さんと毎回交流することができて嬉しい」と話していました。



親子体験教室へのアンケート結果

夏休み中、さんしょうの会以外に預けた施設はありますか？

・ある→「なちゅらる」「はわふる」「からふる」「ふれあい児童センター」「山ゆい」「てとら」「福祉センター陶芸教室」
・「今年もプールという大好きな所に行け、ありがたうございました。先生方から子ども様子を教えていただき、成長している子ども達の姿を知ることができました」

放課後や夏休みなど、お子様のごとで困ったことはありませんか？

・「昨年は利用できず、家にひときりもった生活でした。また機会があるとうれしいです」「夏休みの長期休暇が理解できないので、支援していただき助かりました。体験教室は、身体を動かすことなら子どもも参加したかったです。今回のパン作りなどは理解できないと思いました。プール2017年も楽しみたいです。よろしくお願いします。よろしくお願います」「いつも楽しく利用させていただいています。これからはもう少しお願います」「子どもは着から高学年になりませんが、夏休みB&Gプールを利用したいので、ぜひ引き続き参加を希望します。よろしくお願います」